

## 中国の都市計画・建設

北京・上海両市を例にして

重村達郎

この文章は、筆者が一九七六年と七八年に日中友好協会派遣訪中団・日本地域開発関係者友好訪中団の一員として訪中し、北京市城市规划局・建築学会及び上海市計画委員会・城市建设局の幹部と都市計画・建設に関する座談会をもつ機会に恵まれた際の覚え書きを中心に整理し、補足してまとめたものである。

日中両国は社会制度こそ異なるが、都市問題では共通点も多く、中国の都市計画・建設に関する考え方と実践はわれわれにも大いに参考になると思われるのでここに紹介したい。

## 一——解放前と解放後

北京は千年以上の歴史をもつ古い街であるが、解放前は封建的な消費都市で、近代的な工業もほとんどなかった。比較的立派な住宅や施設もあったが、それも市の中心部だけで官僚・資本家・地主に奉仕するものであり、広範な人民大衆の生活環境は劣悪で、ドブとゴミの山が至

る所にあった。

上海は典型的な半植民地都市で、帝国主義の侵略基地となり外国租界がおかれたが、それぞれが独立王国をなしていたため統一的な都市計画がなく、各租界間では電圧も違い交通も通じていない有様だった。そして、高級マンションや別荘・遊戯場等「冒険家の楽園」と呼ばれた一方で、周辺にはスラム街が広がっていた。

新中国の成立後、早くも一九五〇年代の初めから都市計画をたてはじめ、都市改造と建設が開始された。今では、以前の立ち遅れた消費都市から農業及び各分野の工業が共に発展した生産都市に生まれ変わり、また支配階級に奉仕する都市から人民に奉仕する都市になっている。<sup>(注1)</sup>

## 二——都市建設の理念・目的

都市建設は社会主義建設の一環としておこなわれるので、党の基本路線が当然反映される。即ち、中国では社会のあり

かたとして三大差異（都市と農村、労働者と農民〔工業と農業〕、精神労働と肉体労働）の解消を重視しており、都市建設の面でもこの理念が基底にあるわけである。

都市建設の目的は、プロレタリア階級の政治に奉仕し、社会主義生産に奉仕し、労働人民の生活に奉仕することである（北京の場合は首都でもあり中央に奉仕するということが言われた）。

## 三——都市計画・建設の基本原則方針

都市計画・建設の基本原則は「工業と農業を結合し、都市と農村を結合して、生産に有利であり、生活にも便利であるようにする」ことである。<sup>(注2)</sup>

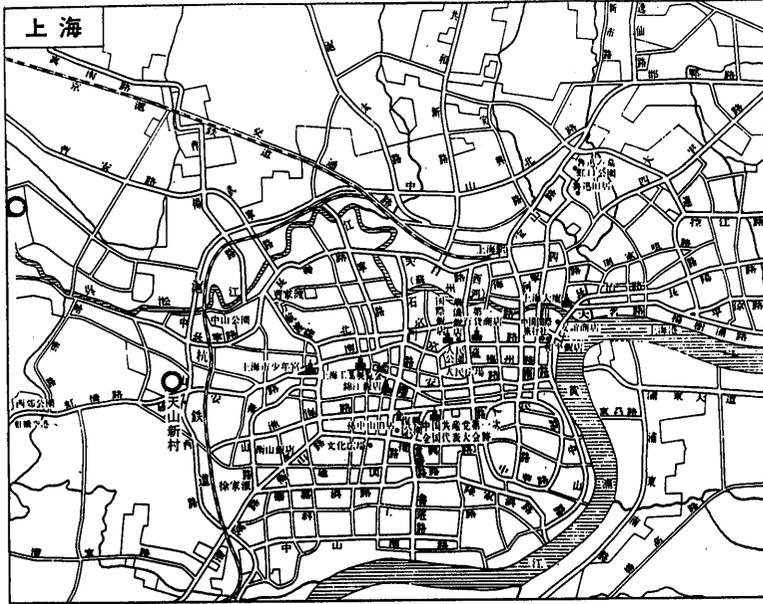
そのために、小都市を多く建設し大都市の規模を規制・改造することが基本方針とされている。<sup>(注3)</sup> なぜなら、小都市は上記の特徴をもち、「…大都市で日常的に起こっている住居、交通、輸送、農業・

副産品の供給ならびに公共福祉施設などをめぐる厄介な問題を避けることができ、環境の改善にとって有利である」<sup>(注4)</sup>からである。

この方針は七八年二月の第五期全国人民代表大会においても「工業建設の中で工業と農業の結合、都市と農村の結合の方針を貫徹しなければならない。条件のあるところでは大慶のように労働者・職員とその家族を組織して農業や副業をおこなわせる。中小都市をより多く建設し、新たに建設されるプロジェクトができるだけ大都市に集中しないようにする」<sup>(注5)</sup>と確認され、それをうけた五月の全国基本建設工作会议では「建設に先立って工場建設予定地の選定、鉱工業区計画、都市計画、実地調査の設計などの諸工作をりっぱにおこなわなければならない」<sup>(注6)</sup>ことがあわせて討議・確認された。

大都市の規模を規制し改造する問題については、中国共産党政治局員・上海市革命委員会第二副主任である彭冲論文「上海の工業を十分に生かし、積極的に

図一 上海市街図



発展させて、四つの現代化の実現に大きく貢献しよう」(注7)に考え方がよく示されているので、少し長くなるが引用する。

「第四、都市の改造と建設に真剣に取り組まなければならない。…上海という都市はすでに過大であり、市街地の規模をさらに拡大してはならないという実情に基づき、今後は郊外区、とくに遠い郊

外の工業都市・町の建設を速めなければならない。郊外区の一部の集鎮(町)に対しても見合った建設を進め、しだいに工業都市をちりばめて分散させ、市街地と互いに協力するようにしなければならぬ。これは工業分布の改善に有利であり、また都市と農村の差異を縮小することもできる。計画な調整を経て、緑化面

積を拡大し、こうして市街地を園林化の方向に発展させ、次第に全市民の居住条件を改善させる。また集団福利事業もしだいに拡大させなければならない。都市の副食品基地の建設を積極的に進める。野菜の生産と供給に真剣に取り組み、機械化養豚・養鶏を普及させ、三〜五年内に豚肉・鶏卵、家禽、水産物を自給する間

題を基本的に解決するよう努力する」。

四 具体的な施策

上記の基本原則・方針を貫くために、北京・上海市では次のような施策をとっている(表一)。

(1) 人口抑制

人口の集中は解決しにくい都市問題を山積させ、都市と農村の格差をなくす上でも、また戦争や地震に備える面でも不利なので、人口を抑制して都市の肥大化を防ぐ。

⑦晩婚及び計画出産・育児の提唱・指導

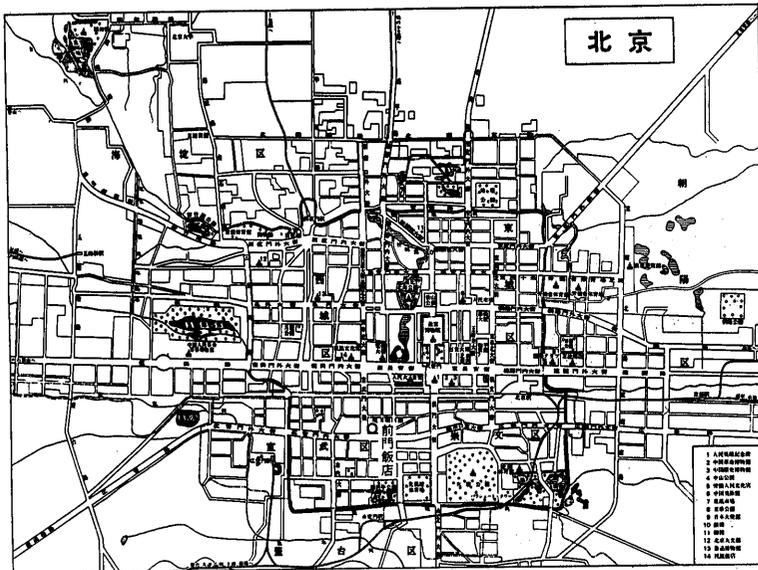
これにより、人口の自然増加率を合理的・計画的にする(注8)。計画性にこそ重点があり、単なる産児制限ではない。

「農村では男子二五才以後、女子二三才以後、都市では男子二七才以後、女子二五才以後に結婚するよう一般に奨励している。結婚してからは、一家庭に子供は二人までとし、その間隔もできるだけあけるようにしている」(注9)。

〈成果〉

北京 解放前(一九三七〜四八年平均)出生率一〇・九%、死亡

図二 北京市街図



率一〇・九%、死亡

表一 北京上海両市の面積と人口

行政単位		人口		面積	
北京	中央直轄市	市内9区	約820万人	市内	約17,800km <sup>2</sup>
		郊外9区	約450万人	郊外	約800km <sup>2</sup>
上海	中央直轄市	市内10区	約1,081万人	市内	約6,185km <sup>2</sup>
		郊外10区	約540万人	郊外	約140km <sup>2</sup>

率一五・四%、自然増加率(不明)一九六三年 自然増加率三・五%(最高)これ以後家族計画の宣伝強化一九七四年 自然増加率〇・三四%(市内区のみ〇・二%) 今後はこの程度でいく

上海 出生率一九五〇年二・二一%↓六五年一・〇四%↓七七年〇・七%(郊外一・四五%) 自然増加率 七七年市全体〇・四三%(市内区のみ〇・二四%) 五万人の増加

④社会増の抑制 理由があり正当な手続をとらなければ農村から都市へ移住できないようにし、また農村から労働力を募集することを厳しく制限している。これによりここ数年来社会増は安定してきた。

⑤知識青年の下放

これも都市人口の減少の役割をはたしている。<sup>(注10)</sup> これら人口抑制に対するさまざまな努力により増加率は相対的には低くなったものの、たとえば上海市の市内人口は解放当初の四二〇万人から現在の五四〇万人へと約三〇年間に一二〇万人増加しており、人口問題の解決は大きな課題となっている。<sup>(注11)</sup>

(2) 工業の適正配置 中国では、五〇年代のソ連型重工業重視の社会主義建設路線に対する反省から、五六年毛沢東が「十大関係論」をうちだし、その後独自の工業発展の道を歩むことになる。そこでは、重工業と軽工業、農業との関係、沿海工業と内陸工業との関係、中央と地方との関係等が論じられ、そのバランスのとれた発展が提起されたが、その方針は今も堅持されている。<sup>(注13)</sup>

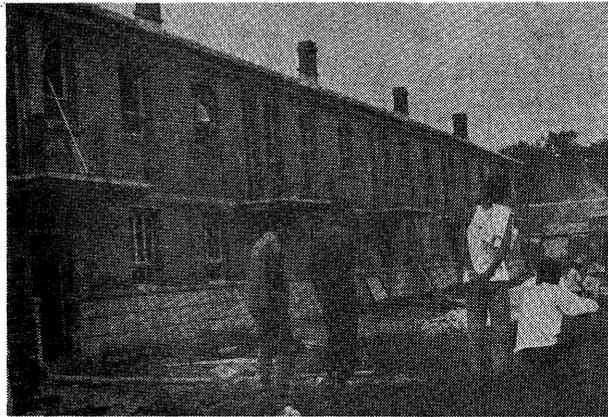
工業の適正配置は都市の規模を抑制するための重要な方策のひとつとされ、次のような措置をとっている。

⑦市街区の工場建設の制限  
⑧市街区の古い工場の改造―統合  
⑨先進技術をもつ工場や公害工場の郊外への移転―分散

これらは必然的に産業構造の再編成を促す。

⑩郊外への衛生工業都市の建設(後述)

写真一 農村の共同住宅 農民用に土間もあり、タテ割りになっている



こうすることによって、都市が郊外の人民公社から野菜の副食品の供給を保證できるようにすると共に、逆に農村も都市から灌漑用水や有機肥料等各方面で援助を受けられるようにする。

また、海や川を埋め立てた場合、地盤がゆるい所に農地を造成し、既存の農地と交換して工場を建設することもあるといふ。

(4) 衛生都市の建設 都市の周辺への拡大を計画的に誘導し、市街人口の移動を促すた

④農村の工業建設 農村の工業建設は、農業と工業を結合させ、労農同盟を強化し、農民の生活条件を向上させると共に、都市問題の改善にも貢献する。

そして、農業生産発展の基礎をつくり農業機械化を促すため、農業機械・農薬・化学肥料等多種類の工場を建設し(その際人民公社などに機械設備を譲ることもある)、農業生産と密接に関連して技術水準も高くない工業は郊区で自給できるよう人民公社生産大隊の階層的農業機械製造修理網をうちたてること

(注14) をめざしている。 これら農村の工業建設は、畦道の改良や水利施設等農地基本建設の進展及び個々の農家の集団住宅への集約(当然従来の自然集落の解体を伴う)などといふ<sup>(注15)</sup> いて、農村の様相を大きく変えつつある(写真一)。

(3) 都市は農村に奉仕し、農村(郊区)は都市に奉仕する。 前項とも関連するが、具体的には次のような施策としてあらわれる。 都市計画をたてる際に市街地計画と郊区計画を結合させ、市街と工業地区との間の農地をできるだけ保存し、荒地・窪地・湿地等を改良していく(農地の収用をできるだけさける)。

めに、北京・上海两市では市の中心部から数十km離れた所に、工業・大学・研究所等を中心にした新しい都市を建設した。これは単なるベッドタウンではなく、工場・住宅・農地・文化教育・商業・福祉施設等生産と生活との骨肉の関係を重視したオールラウンドな都市である。

この衛生都市の規模は人口にして三〜五万人、大きい都市で七〜八万人、特別大きくても一〇〜一五万人を限度とする。

各工業衛生都市（工業城鎮）には比較的焦点をおく業種がある。

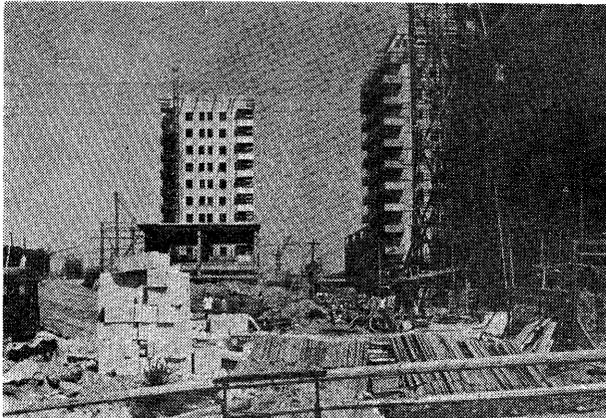
- 例 上海（中心部から二〇km以下の近郊に六カ所、二〇〜七〇kmの遠郊に六カ所） 閔行―大型機械・発電、金山―石油化学、宝山―冶金
- 吳淞―鉄鋼

(5) 旧市街の改造（都市再開発） 北京市の例―旧市内六二區（城壁内）人口約一六〇万人

改造の方針は「逐次に改造をすすめる」である。なぜなら、北京は古い街で建物の九〇％は修復を要し、一度ではできない。

・スラム街の改造例―南部・南城地区―ドブを改造してゴミ・糞をとり除き、下水道を整備し、汚染公害工場を郊外に移転した他、屠殺場を移転して跡地に病院を建設、さらに上水道を整備して居住

写真一 2 市街地の再開発地 北京宣武門地区



環境を改善した。古代旧跡に対する方針は「昔のものを今に役立てる」で、次の四つに分けて処理する。

- ⑦ 改造 例 天安門広場一ha↓五九年四〇ha↓七六年四六ha（毛主席記念堂）
  - ④ 利用 例 故宮↓故宮博物館
  - ⑤ 撤去 例 交通障害になった東西長安街のアーチ、城壁
  - ⑥ 保存 例 四合院（古い屋敷）
- 改造にあたっては通りごと、居住区ごとにとりこわして建物を建設していく

が、条件が整っていない所はブロックごとににする。

建物の階数は大きな道路に沿った所は一〇〜一二階、直接面していない所は五〜六階にする方針で、またホテル等公共建物は高くし、逆に故宮の周囲は二階にして遠く離れるに従って高くする等の配慮をしている（写真一2）。

その際、六つの統一（投資・企画・設計・施行・配分・管理）を唱え、北京市が一貫しておこない、完成後適宜わりふる。建設にあたっては立ち退きが必要な場合、原則として近所に入ってもらうか

職場の近くに移ってもらうかになるが、引越後の居住条件はよくなるようにする。住宅建設にかぎらず大規模な工事に伴い住民の移転が必要な場合は、統一指導のもとに移転先の住宅を手配し、全部移らせてから着工するが、その際特に区革命委の参加が重要で、大衆を立ち上らせることが問題を解決するのに有利である。

・その他の主な成果と今後の考え  
旧市街の建築面積一、七〇〇万㎡に対し、解放後新たに一、四〇〇万㎡を建設した。また、東西に走る長安街を疎通させ四〜四〇kmにした。今後、天安門に連なる南北の大通りも古代建築をつなぐ配慮をしながら

延長する予定であり、また全国関係の施設を建設するため、中心部にある工場は徐々に郊外に移していく。

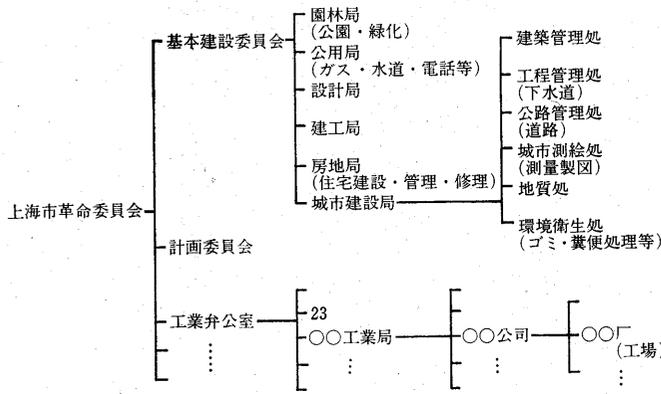
### 五 都市計画・建設に携わる機関及び財源等

上海市を例にとると、都市建設については、市革命委員会の下にある基本建設委員会が所管しており、これは国家基本建設委員会の指導下にある。都市計画は城市建设局の所管であり、その任務は次のとおりである（表一2参照）。

- ⑦ 都市建設の計画・管理
  - ④ 都市環境施設の建設・修理・管理
  - ⑤ 都市の環境衛生管理
- 各部門で建物をつくらなければならない場合なども、城市建设局に申出をし、審査―承認を経て実行に移される。
- 上海市城市建设局には全局で約四万人おり、うち機関の幹部は約二〇〇人、技術員と事務員の比率は二対二ぐらいのことである。<sup>(注16)</sup>

計画は五年の長期計画のもとに一年毎の計画をたて、党委員会―革命委員会の承認をへて実行に移される（上海の場合は中央直轄市なので中央の批准が必要）。財源については、港湾建設や石油化学コンビナートの建設のような大工事は国家からの直接投資で行われるが、それ

表一 2 上海市革命委員会機構図



中国でも都市計画をたてる際に、生活居住用地・工業用地・公共事業施設用地

六 土地利用計画——工業区と居住区の関係を中心に

外の通常の都市建設は上海市の直接投資による。具体的には、上海市の毎年の財政収入（企業や商業部門からの利潤が大部分を占める）を中央銀行に納め、中央が上海市に配分するという方法をとる。

等用途地域をわけ、相互の関係を考慮し、たえば北京市では、工業区と居住区の配置にあたって次のような配慮をしている。

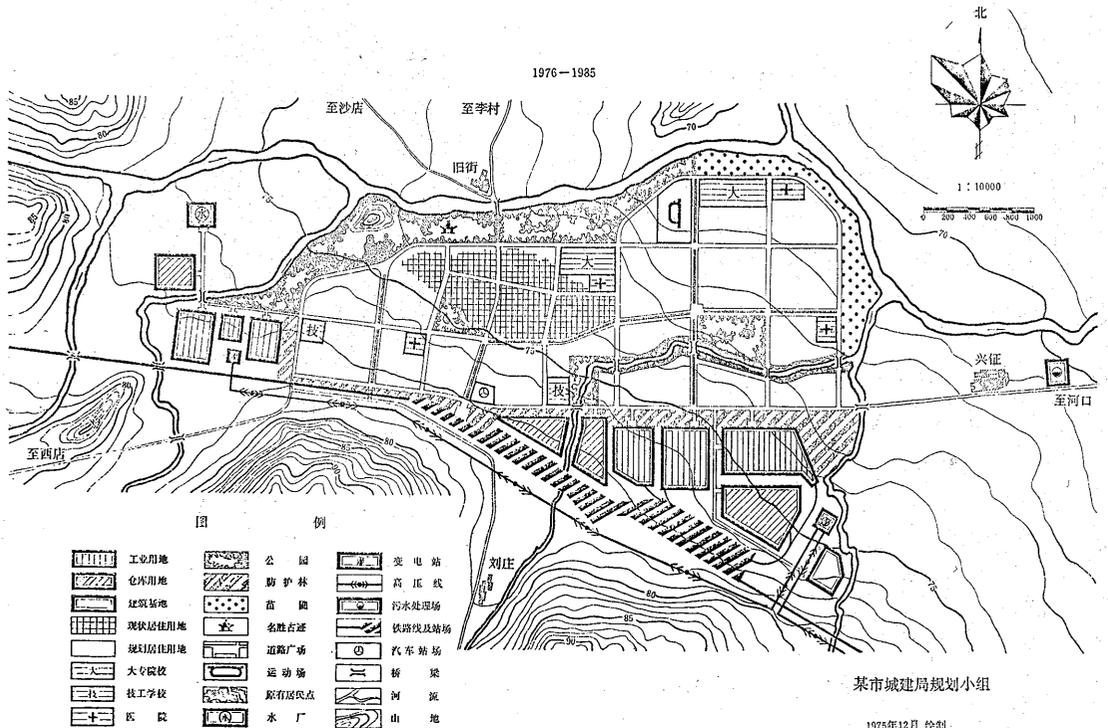
北京では年間を通して北西の風が強く、川も北西から東南方向に流れているので、東南及び南の郊外区に工業地区を配置するようにした（西郊外の石景山には鉄鋼業があるが歴史的なもので、新しく建設したものではない）。但し、精密機械工業や計器工業などの無公害工業は住民区や都市のその他の地区に設けている（例、電子工業地区は東北郊外）。また、工芸美術やガラス工業などは新村（団地）の近くに設けて婦人労働の組織化を図っている。

また、上海市でも衛生都市や工業地区の建設にあたっては、大型機械は公害発生が少ないので上流地域に、冶金工業は交通の便のよい臨海部に、計器工業は静かな環境を重視した配置にしている等の話があった。

① 道路・交通問題

七 都市問題への対応と建設の成果

図一 3 某都市都市計画平面図



⑦問題点

(7)従来の道路が現代の交通需要に適合せず生産の発展を阻害している

。解放前からの道路建設のたち遅れ

(北京)

。帝國主義者の侵略の道具とされ、租界地の発展に伴い道路がのびるといふ不合理さ(上海) 例 東西道路は多いが南北道路は少ない

(1)増大する交通量に道路建設がいつかない。ひどい交通混雑、交通ルールの未確立

(2)大都市交通問題解決の経験が少ない

(3)解放後の道路建設と今後の計画

(北京)

歴史的な格子状道路網を新市街地に拡大し、環状線と放射線を加えて幹線道路網を構成する。幹線と幹線の間の住宅地には連絡道路を建設する。

。環状道路 五本建設(一部供用中)

。その他の幹線道路 他都市・省に通ずる九本の道路を建設

北京市郊外の県・工業地区に通ずる一〇数本の道路を建設

。旧道の改良拡幅・舗装 例、東西長安街の疎通、景山公園前の文津街

。立体交差道路の建設

なお、幹線道路の幅員は、交通量・緑化計画・埋設物敷設計画の二条件によって決定し、三種に区分する。

(7)主要幹線道路 六〇〜八〇m(東西長安街に一〇〇m以上の所もある)

(1)次幹線道路 四〇〜五〇m

(2)支線道路 三〇m

このようにして、市内の道路総延長は四九九年に比べ九倍、舗装総面積は同一〇・八倍、輸送量は同一九倍、郊外区の道路総延長は六、六〇〇kmとなった。

(上海)

主な建設の成果

。旧道の拡幅 今後中心部の主要街路 南京路・延安路・淮海路 幅二〇〜三〇mに

。道路上の住宅の撤去、大樓の一階をとり除き、歩道に(ピロティ方式)

。中山路(市内循環道路)の建設 市内と郊外をつなぐ幹線道路で、工場間の運輸が市街を通らなくてすむ

。南北大道の建設 例 華南南路、西藏路

。立体交差 陸橋の建設等

(3)道路建設の基本方針 道路は都市建設の骨格をなすものなので都市計画の際には道路計画を優先させ、ネットワーク建設を考える。

「全面計画・総合設計・統一指導・共同施行のプログラム。市革命委員会の統

一指導の下に、植樹や地下埋設物・電力等も考慮し、計画から工事まで相互に協力して行う。

なお、北京市では、各部門の指導・調整をおこなうため北京市交通安全委員会と都市交通研究指導グループを設けている。

(4)今後の方向

(7)道路建設の促進 既述

(1)交通規制 管理の強化

。一方通行の道路や夜間運輸の比率をふやす。(注20)

。単なる工場レベルでなく、局一公司単位で連絡・統括し、各部門ごとに専門の運輸隊を組織して効率的にやり、車がカラで走る状況を少なくする

(2)公共交通事業を進展させる

。私有のものとしては自転車を中心とし、各部門の車と少数のタクシーにして交通渋滞と汚染問題の発生を少なくする(職住近接と関連)(注21)

。バス路線の建設(注22)

上海 解放前バス四〇〜一四〇路線 延べ一日五〇〇万人以上を運ぶ

。地下鉄の建設

(北京)六九年一次工事完成、一七駅二三km、朝六時〜夜九時まで平日

八分間隔で運行、通勤客中心に一日一〇万人運ぶ。第二次工事として城壁跡に環状線を建設中

(上海)検討中だが、デルタ地帯で路盤が柔らかく、地下水位が高いので困難である。(注23)

。高速道路の建設(注23) (なお、鉄道の建設については省略した)

⑧住宅建設

ここでは全体的な建設の成果と、「新村」と呼ばれる計画的に建設される住宅団地について概述する。

(方針)

。新村の建設にあたっては、商店・学校食堂・病院・託児所・工場・映画館・緑化用地等を同時に計画・配置する。

。職住近接にするが、工場地区と若干離して、通勤には便利だが公害の影響を蒙らないようにする。

。建物の階数は、基礎工事が比較的簡単ですみエレベーターもいらす資金の節約にもなる等の理由で、中層住宅(五〜六階)を中心に建設している。

。住宅の配分は基本的に家族の人数、困窮度によって按配する。市房地局―区房地局―街道房産管理处―房産

管養段の各段階にわけて管理している。  
る。

。家賃は一カ月の収入の三〜五%前後で、住宅の修理・管理費にあてられる。

### 〈建設の成果と問題点〉

北京 解放後の住宅面積は解放前の二・七倍、二、五〇〇万<sup>m</sup>余  
新築住宅の床面積は同一・五倍、住宅地は六、〇〇〇haで解放後より四倍に拡大、大面積の新住宅区が五〇余カ所、数十棟のアパートからなる小住宅区（居住センター）一〇〇余カ所<sup>(注24)</sup>

上海 解放後、一、四〇〇万<sup>m</sup>建設、新村一三八カ所、二〇万戸一〇〇万人余分で、全市の住宅面積の四分の一を占める。七七年に建設した住宅の総面積は七一万<sup>m</sup>で、同時に公共施設を計七三、〇〇〇<sup>m</sup>建設した<sup>(注25)</sup>

今後、古い住宅の改造と居住面積の拡大・居住水準の向上等が課題になっている。<sup>(注26)</sup>

### ③—公害問題

公害は三廃（廃気、廃液、廃滓）と呼ばれているが、環境保護は中国でも大きな問題になっている。<sup>(注27)</sup>解放後、生産の発展は人民の生活向上のためであるという

考え方に基づき、各レベルの環境保護弁公室が担当となって公害問題に取り組んでいる。<sup>(注28)</sup>

公害問題に対する基本方針は、「全面的に計画し、合理的に配置し、総合利用を図り、有害なものを有益なものに変え、大衆に依拠し、みんなで取り組み、環境を保護し、人民に幸福をもたらす」であるが、総合利用を重視している。<sup>(注29)</sup>

### 〈主な対策〉

⑦技術者—労働者—指導幹部からなる三廃処理小組をつくり、公害問題にとりくむ。<sup>(注30)</sup>

### 。公害防止施設の設置

。技術工程を改革し有害物質を除去する

④公害発生工場（汚染・振動・危険物取扱工場等を含む）を郊外に移転させ、そこで適切に処理する。

この場合、住民を動員し、分散している小工場を合併調整させることもあり、住民区にある工場跡地は住居にするが、工業区にある工場は製品の質を変えるなどして公害を出さない工場にすることが多い。

⑤新工場の建設や拡張工事に際しては、公害防止施設を主体工程と同時に設計・施行し、関係機関の許可がおりなければ操業させない。

⑥総合利用

「勤儉建国」の方針と刻苦奮斗の作風を守り、産業廃棄等の廃物を廃物回収公司で回収し、総合利用する。一部は生産原料の供給源にもなる。<sup>(注31)</sup>

例 金属クズ・スクラップを再精練

tのくず鉄八〇〇kgの鋼、一tの廃物ゴム→七九〇kgの再生ゴム、にかわ精油工場→動物の骨・エンジン油の廃油→再生エンジン油、捺染廃液→沈でん物は工業用アルコールの原料、肥料（尿素）に、また製紙工場に運び漂白に使い、その後浄化して流す。

### ④—ゴミ処理糞尿処理

ゴミ発生量（七七年）

北京 二、五〇〇t/日（市内区のみ）<sup>(注34)</sup>

上海 四、〇〇〇t/日（生活ゴミ）

うち有機ゴミ二、五〇〇t余  
人口に比し絶対量は少なく、魚や野菜くず等の有機ゴミが多い。

ゴミ処理の体制は、大きな建物ではパイプを通して集め、平家では容器で近くのゴミ捨て場へ運び、これを毎日数千の労働者が夜間（清掃時）はこり公害をへらすため）定期的に車で収集して郊外のゴミ処理場へもっていく。そこで有機ゴミと無気ゴミに分け、前者は農村の人民公社の堆肥場で処理して有機肥料とし、後者は利用できるものは回収する（ぼろ

布・古紙→再生、燃えがら→道路の基礎・建築材料）。

糞尿については、下水管を通して下水処理場へ運ばれるもののほか、槽にため衛生車で回収して肥料会社に運び、農村での肥料として用いられる。<sup>(注35)</sup>

糞尿発生量 上海九、〇〇〇t/日（七六年） 衛生車とゴミ収集車約三、〇〇〇台

ゴミや糞尿などの収集・運搬費は国家が全額負担しており、北京市では毎年一千万円支出している。また、毎週木曜日一斉に愛国衛生運動をくり広げている。<sup>(注36)</sup>

### ⑤—緑化について

緑化は、都市環境を改善し憩いの場を提供すると共に、防風・防砂・山土保護等農業生産を保証する役割をはたすものなので、以前からある緑を保護すると共に、拡大発展させている。

### 〈緑化の具体的な方法〉

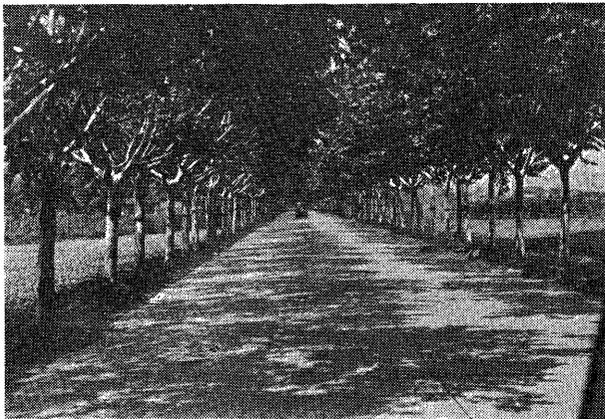
⑦新村の建設と共に進行。

苗木を無料で支給し、住民が植樹する

④旧市街の改造に伴う緑化・公園の造成

例 ドブを埋め、下水管を敷設してその上に植樹

上海 東方飯店→労働文化宮、ゴルフ場動物園  
公園の造成 上海 共同墓地→ウルクイ公園、ゴミ捨て場→蓮菜公



園、兵舎・弾薬倉庫↓平和公園、競馬場・賭博場↓人民公園・広場  
 なお、公園の木には鑑賞木・経済木（生産用）果樹・薬草木等様々である。  
 ④空地やロータリーへの植樹、造林  
 ⑤街路樹を植える  
 早く成長する木や日陰をたくさんつくる木・活葉樹をできるだけ植えるようにしている（写真-3）。

例 ポプラ、ネムノキ、柳、スズカケノキ

⑥植物園をつくり科学研究と教学を結びつけた苗木を育てる。

〈緑化の成果〉

北京（七七年） 『北京周報』七八年四号「首都の緑化」より郊区、造林適地面積の四九%—二三万余haの林地、その他住宅・道路の周囲に九五、〇〇〇万株の植樹 一人当たり平均二五株  
 上海（七六年）

解放前との比較 公園一四→四一  
 （各区に一つの中心公園あり）植樹面積一、〇〇〇万㎡→四、五〇〇万㎡  
 緑化したロータリー一〇→二二〇カ所  
 街路樹一八、〇〇〇株→一六〇、〇〇〇株 苗圃（七→三一）  
 緑地は園林局が各段階にわけて管理するが、鉄道や大通りの両側の木はそれぞれ鉄道部・交通部で管理している。

⑥—地盤沈下対策—上海—

一九二一年から地盤沈下現象が現われ始め、六五年までに一mも低下した。上海はもともと平均海拔四mと低く地下水も八〇cmも掘れば出てくる所もあり、沿岸と水面の格差が少ないため逆流現象や橋梁の裂け目が現われたりした。  
 六三年より大衆を動員して調査研究を行い、原因は⑦高層ビルの建設の地質の変動⑧地下水の汲み上げ

げであり、中でも地下水を多く使うときや季節に地盤沈下がひどく、地下の砂が地下水をとりたれて圧縮することが地盤沈下の主な原因と判明した。そこで対策として  
 ⑦地下水の使用を節減する  
 水道を使うようにする  
 ⑧循環して使用する  
 ⑨冬季に水を地下に注ぐ  
 などの措置をとった結果、現在では地盤は安定してきた。

以上、都市計画・建設上の諸問題に中国がどのように対処し成果をあげているのかについて概略を紹介してきた。またこのほかにも、下水道・防災・地下壕等都市計画上大きな考慮が払われている諸問題もあり、参観・懇談する機会もあったのだが、紙面の都合で省略した。  
 最後に、関係当局者が、中国はまだ発展途上国で現代化した先進諸国と都市建設の面でも大きな格差があり、日本にも大いに学びたいと語っていたことを付記しておく。

注1 解放後の中国の都市政策の変遷については、『中国の都市化と農村建設』（小島麗逸編、龍溪書舎一九七八年）第二章越沢明論文「都市政策の変遷と都市計画」参照  
 注2 原語では「工農結合、城郷結合、有利生産、方便生活」これは故周恩

来首相が一九六三年に二度目の大慶油田を視察した際現地の経験をしくくって打ち出した方針である（『北京周報』七八年二二号、江山浩・大慶印象記（四）「農村型都市、都市型の農村」参照）

注3 文革後小都市を建設するという方針が確立された。文革後の都市計画の原則を述べた論文として故建城「小城市的規画与建設」（『建築学報』七四年六号）があるが、その概略は注1の越沢論文に述べられている（一〇〇〜一〇一ページ）

注4 『北京周報』七六年二二号曲格平論文「環境と開発の問題について」

注5 七八年二月二六日第五期全国人民代表大会第一回会議 華国鋒「政府活動報告」

注6 『北京周報』七八年二〇号「基本建設に力を集中」にこの会議の概要が述べられている

注7 『紅旗』七七年一二号彭冲「充分利用和積極發展上海工業為實現四個現代化作出更大贡献」この論文の概要は『北京周報』七八年四号「沿海の工業基地上海」にのっている。なお訳は前記越沢論文より引用した。

注8 前記「政府活動報告」によれば「三年内にわが国人口の自然増加率を一%以下にひきさげるよう努めなければならぬ」とされ、これを受けて國務院に家族計画指導小組（組長陳慕華副首相）が発足し、六月第一回會議が開かれてこの問題を討議し、國民經濟計画の一環として取り

組むことが確認された(『北京周報』七八年二九号「家族計画についての会議」)

注9 『北京周報』七八年一四号「江蘇省如東県における家族計画」

注10 一九六六―七五年までに農山村に定住した知識青年は一、二〇〇万人にのぼるといふ(『北京周報』七六年二号「千二百万人の官農知識青年」)

注11 上海市郊外地区の人口は一九四九年に比べ五三%増加したといふ(『北京周報』七五年三三三号季論文「人口が多く土地が少なくても食糧の自給はできる」)

注12 『毛沢東選集』第五卷北京外文出版社一九七七年「十大關係について」

注13 前記「政府活動報告」及び「国民経済発展一〇九年計画要綱」

注14 『北京周報』七五年三三三号によれば、上海郊外地区では県・人民公社・生産大隊の経営する工場が計五、六五三個所で四一万人の従業員を吸収している(一ページ)とあり、同七五年四〇号『上海郊外の農業機械化』によれば、上海市全郊外区一九八の人民公社で四、七四九の企業を経営しているといふ

注15 ここでは「農村の都市化」にふれるスペースがない。モデルとしては山西省昔陽県の山村大寨がとくに名高い

注16 筆者が七六年訪申した際都市建設局の幹部から聞いた話。日本でいう建築業者が入っていたり幹部の概念も違うのを考慮する必要がある

注17 前記「北京周報」七八年四号「沿海の工業基地―上海」には、「一九五〇年から七六年までの上海の基本建設に対する政府の投資は、上海が政府に上納した額の七・六%であったが、この期間の全国基本建設投資総額の四一・九%は上海の蓄積から充たされたものである」とある

注18 中国の土地利用計画については中国建築工業出版社「城市用地選択及方案比較」(城市規画知識叢書之五、一九七六年)に具体例をまじえて考え方が示されており、『都市問題』六九卷七・八号、一九七八年に越沢明氏の全訳がのっているので参照されたい

注19 『北京周報』七八年四二二号「急ピッチですすむ北京の道路建設」では一九七七年末までに北京市の道路は四九年に比べ一〇・二倍になったが今後八五年までに市内八つの大通りを幅二〇m―二八mに、立体交差道路橋八基、環状道路四本、一万m<sup>2</sup>の駐車場四つ、道路の両側に一、二〇〇万m<sup>2</sup>の高層建築の建設、頤和園・万里長城・空港へ通ずる舗装道路の建設を計画している、とある

注20 『北京周報』七八年九号「改善された北京の交通事情」によると、「一月一〇日から、トラックの市街区乗入れ規制が実施され昼間通行証をもっているトラック以外は夜間にしか市街区に入ることができなくなり、市街区の交通事情がある程度改善された」とある

注21 同七七八年九号では一九七七年北京の自転車台数は六五年の五倍、毎年一二万台増で二五〇万台にのぼるといふ。また同七七八年四二二号では自転車台数は四九年の一五倍、自動車台数の増加は三一倍にのぼるといふ

注22 『北京周報』七五年四七号「北京の公共交通」によれば、七四年末現在、「全市のトロリーバスの総台数は解放当初の四八倍、路線の全長は一八五倍の増加、公共交通路線は解放直前の六本全長四一km、全市のバス・電車計五〇台余から二、六〇〇台のバス・トロリーバスが運行し、延四〇〇万人/日を運んでおり、郊外の農村と遠い郊外区・山間部の路線の建設を重視している」とある

注23 『北京周報』七八年二七号羅孚「水運・陸運の近代化をめざす努力」では六月の「大慶に学ぶ全国交通会議」の模様を伝え、八〇年までに高速道路一本を建設するとの方針が示されている

注24 『北京周報』七六年四〇一―四一四号「北京の新しい住宅」及び同七七年四四号「北京の住宅建設」も参考にした

注25 『北京周報』七八年一七号「上海の住宅建設」も参考にした

注26 『建築学報』七八年二号戴念慈論文「論住宅面積定額和提高居住水平問題」など、なお、『北京周報』七八年四一四号「都市の住宅建設を促進」によると、国家基本建設委員会は全国一九〇の大都市の七九―八五年

までの住宅建設計画を制定したといふ

注27 一九七八年三月五日第五期全国人民代表大会で採択された憲法でも、第一条に「国家は、環境を保全し、天然資源を保護し、汚染その他の公害を排除する」と定められた

注28 前記曲格平論文は、経済開発と環境保全を対立させる観点に反対して、両者を統一的に配慮し、全面的に立案することの必要性を説くと共に、環境の保護・改善が農業の発展を保証するという観点を明確にしている。

注29 中国の公害問題については、環境庁の環境問題訪中代表団の報告書「中国の公害事情」(一九七八年)等参照

注30 原語では「全面規画、合理府局、総合利用、化害為利、依靠群衆、大家動手、保護環境、造福人民」のローガン

注31 『北京周報』七八年四八号「期限つきの汚染防除」によれば、国家計画委員会、国家経済委員会、國務院環境保全指導小組が、首都鋼鉄公司上海精油所、大慶石油化学総工場等汚染のひどい全国一六七の企業に遅くとも八二年までに汚染をなくすよう命令し、違反した場合は操業停止・企業の指導部及び上級主管部門の責任追求等の厳しい措置をとることにしたといふ

注32 廃物とは、生産活動と消費生活の過程で廃棄された使用価値をまだ完

注33

全には失っていない物品のこと  
『北京周報』七五年三二号「ゴミ  
廃棄物の処理」同七五年三四号「廃  
物の回収」同七八年三一号「廃物の  
回収」参照、これによると、北京で  
は市内の各街区・住宅区に四〇〇カ  
所余りの廃品購入所を設け、各種廃  
物を政府の統一規定に基づき購入価  
格で買上げており、一九五六〜七四

注34

年末までに商業部門を通じて回収さ  
れた廃物だけでも総額一六〇億元に  
及び、そのうちスクラップ三、五〇  
〇t、非鉄金属一〇〇万t、製紙原  
料一、一〇〇万tにのぼるとい  
う  
同上七五年三二号によれば、北京  
市内のゴミは二、七〇〇t/日とあ  
る

注35

『北京周報』七五年三三号「農村

注36

でのメタンガス利用の普及」によれ  
ば、メタンガス発生池に人畜の糞便  
雑草・汚水等を入れメタンガスをつ  
くり燃料にしており、農村の環境衛  
生の改善や病気の伝染予防に役立っ  
ているという  
『北京周報』七五年三二号「ゴミ  
廃棄物の処理」

注37

七八年訪中時の見聞による。『北

京周報』七五年三二号「愛国衛生運  
動への参加」参照また同七八年二〇  
号「全国で衛生運動を展開」によれ  
ば、七八年四月愛国衛生運動のため  
中央愛国衛生運動委員会を再建し、  
全国の衛生活動を指導することにな  
ったという  
〈経済局工場移転指導課〉